

連絡先:株式会社パノラマ・ホスピタリティ
星野 美奈子/Tel:03-4570-8210

東洋ホテル、「ラマダホテル大阪」として装いも新たに営業開始

東京, 2006年01月17日 - 大阪東洋ホテルは、2006年1月15日付をもってラマダ・ワールドワイドとのフランチャイズ契約のもと、「ラマダホテル大阪(英語名: Ramada Osaka)」(www.ramada-osaka.com)に名称変更、営業を開始した。

36年の歴史をもつ同ホテルは、2005年8月より全面改装に入っており、既に新しいコンセプトに基づいてフレンチシェフが作るイタリアンレストランの「ランパーダ」を2005年9月に、ダイニング & カフェ「ヌフヌフ」、グルメデリ「トレ・トレボン」を12月に新規オープンさせている。また、2006年1月15日には和食レストラン「大和屋 林泉」がオープンした。客室のリニューアルも段階的に行っており、宴会場を含め3月中旬までには改装を全て終了する。改装後の総客室数は548。

1月16日のオープニングセレモニーにおいて、株式会社パノラマ・ホスピタリティの社長ロバート・ウィルソンは「今回のリブランディングは、歴史ある当ホテルの記念すべき再スタートとなるものである。生まれ変わったラマダホテル大阪の新しいアメニティや施設は、お客様にきつとご満足していただけるものと確信している。また、当ホテルの営業開始にあたり、ラマダ・ワールドワイドと良きビジネス・パートナーとしての関係を構築できたことを、非常に嬉しく思っている。」と述べた。

また、ラマダホテル大阪の取締役副総支配人 石引照夫は「ラマダ大阪へ名実ともに生まれ変わるに当たり、全従業員がこれまで精力的に励んでくれたことを大変誇りに思う。生まれ変わった当ホテルへ、日本全国から、そして世界中からお客様をお迎えできるのを従業員一同心待ちにしている」と語っている。

株式会社パノラマ・ホスピタリティについて

株式会社パノラマ・ホスピタリティは、モルガン・スタンレー不動産ファンドが日本およびアジア・パシフィック地域で保有するホテルを運営管理するホテル・マネジメント会社である。同社は現在、13のホテルを運営管理しているが、その中の一つであるラマダホテル大阪は、ファンドが2004年9月に取得した。株式会社パノラマ・ホスピタリティは、モルガン・スタンレーの100%子会社である。

モルガン・スタンレーはグローバルな総合金融サービス企業であり、証券、資産運用、クレジット・サービス業務において、市場のリーダー的存在である。現在、世界28カ国に600を超えるオフィスを擁する同グループは、人、アイデア、資本をつなぐグローバル・ネットワークを最大限に生かし、世界中の顧客に質の高い金融商品およびサービスを提供している。

#